

# ガスホースの経年劣化により出火した事例

## 火災概要

防火構造 3 階建一般住宅の居室において床面及び内壁の一部を焼損した「ぼや」の建物火災です。

家人が部屋を暖めておこうとガスストーブを点火してその場を離れ、数分後に再び部屋に入ると、点火していたガスストーブの裏側から炎が上がっていたもので、直ぐに自宅に設置してあった粉末消火器及び水道水で消火し、初期消火に成功しています。

## 原因概要

本件火災の出火原因は、購入して約 20 年が経過する赤外線ガスストーブとその当時に付属していた長さ約 1.8 m の 古いガスホースが経年劣化し、ひび割れ等から微量のガスが漏れ出して点火中の同ガスストーブの火に引火、付近の可燃物に延焼したものです。



## 類似火災の防止対策

このガスストーブは、購入から約 20 年が経過しており、製造会社も既になくなっていきます。今回の火災はガス漏れが微量であり、発見が早かったことが幸いして大惨事には至りませんでした。また、必要以上に長いガスホースは使用する際に邪魔となり、他の事故発生要因となりかねませんので、適切な長さのガスホースを使用して下さい。現在市販されているガスホースは内層を耐ガス性合成ゴムとし、その表面を硬鋼線保護ネットで強化し、さらにその上から耐候性合成ゴムまたは樹脂で包んだ構造のものとなっています。長期間経過した古いガスホースは使用する使用しないに関わらず、劣化してしまいます。古いガスホースを長期間保管、または使用されている方は、現在の丈夫なものに取り替えていただくようお願いいたします。

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・